

令和 4 年 度

事業 報 告 書



一般財団法人 石川県予防医学協会

目 次

一般財団法人石川県予防医学協会定款概要 (第1章総則抜粋)

はじめに	1		
1 2022年度事業実施概要	3	6 環境検査	14
2 職域保健	5	(1) 食品検査	14
(1) 総合健康診断・定期健康診断	5	(2) 簡易専用水道検査	15
(2) がん検診	6	(3) 作業環境測定	15
(3) 特殊健康診断	6	(4) 計量証明事業	16
(4) 人間ドック	6	7 総務事項	17
(5) 健康支援	6	(1) 理事会開催状況	17
(6) ストレスチェック	6	(2) 評議員会開催状況	17
3 地域保健	7	8 啓発活動報告	18
(1) 健康診査	7	9 学会発表状況	18
(2) がん検診	7	10 会議・研修実施状況	19
4 学校保健	8		
(1) 尿検査	8		
(2) 心臓検診	10		
(3) 寄生虫検査	11		
5 医学検査	12		

一般財団法人石川県予防医学協会定款概要（第1章総則抜粋）

《名称》

一般財団法人 石川県予防医学協会

《設立》

1952年（昭和27年）10月 8日

《一般財団法人移行》

2013年（平成25年） 4月 1日

《住所》

金沢市神野町東115番地

《目的》

当協会は、疾病の予防、健康の保持及び増進並びに生活環境の保全を図るために必要な事業を行い、もって公衆衛生の向上と地域社会の発展に寄与することを目的とします。

《事業》

当協会は、前項の目的を達成するため、次の事業を行います。

- (1) 予防医学に関する各種健康診断、診療及び検査事業
- (2) 公衆衛生に関する普及啓発及び助成事業
- (3) 公衆衛生に関する調査研究事業
- (4) 生活環境の保全に関する必要な調査研究事業
- (5) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

2022 年度（令和 4 年度） 事業報告書

一般財団法人 石川県予防医学協会
理事長 松崎 充意

《はじめに》

2020 年 1 月に日本で最初の感染者が確認され、世界中そして日本国内に大きな災禍をもたらした新型コロナウイルスは、長い 3 年の時を経て、本年 5 月 8 日に感染症法上の位置づけが第 5 類に移行し、with コロナから after コロナに転換しつつあるように思われます。石川県にも観光やビジネスで多くの人が訪れるようになり、コロナ禍前の状況に近い活気が感じられるようになりました。

しかし、先行きが不透明な状況としては、ロシアのウクライナへの武力侵攻から 1 年以上が経過し、長期化が心配され、未だに平和の訪れが見通せません。

この影響を含め、6 月には電気料金が大幅に値上げされ、更なる物価の高騰が続くとの予想もあり、私達の生活や企業経営への大きな打撃が懸念されています。

協会は 2022 年 10 月 8 日に創立 70 年を迎えました。2022 年度も引き続き、協会一丸となって取り組みました新型コロナウイルス関連事業では、高齢者をはじめとする地域の皆様へのワクチンの巡回及び個別接種を実施し、PCR 検査では、発熱外来の患者様、渡航等のお客様の検査を行い、感染拡大防止の一助となるべく尽力しました。

しかしながら、協会の根幹の事業である健康診断事業の受診者数においては依然として厳しい状況が続き、コロナ禍前の受診水準には至っておりません。特に地域保健やがん検診の受診控えは全国的にも問題となっています。

受診率の回復に向けては、対象の皆様に改めて健康診断の重要性をお伝えすることが必要であり、企業・団体様や関係機関を通しての受診勧奨はもちろん、様々な媒体を通して積極的に訴えていくことも大切だと考えています。また、より魅力ある健康診断・人間ドックとするために付加価値が高く、お客様満足度が高いものにしていく必要があります。

「71 年目 日本一“夢”と“誇り”のある予防医学協会に向かって！」のスローガンの下、2023 年度も協会全体で予防医学事業を推進し、県民の皆様の「健康・安全・安心」に貢献できるよう努めてまいります。

以下、2022 年度(令和 4 年度)展開しました事業を概括いたします。

＜基本理念＞

「すべては お客様のために 社会貢献のために 職員と家族のために」

＜行動指針＞

1. 思いやりの心

- ・何事にも思いやりの心を持って取り組みます。

1. チャレンジ精神

- ・創造力を持ち、失敗を恐れず挑戦し続けます。

1. 精度管理の徹底

- ・「精度管理」を最優先とし、正確な健診、検査を実施いたします。

1. コンプライアンス（法令・規則の遵守）

- ・関係法令、自主規準を必ず遵守します。

1. 継続的改善

- ・高品質のサービスを提供するため、継続的な改善に努めます。

1. 人材育成

・自らの役割に責任を持ち、高度な専門性を身に付け、情熱的に行動する人材の育成を推進します。

1. 楽しくやりがいのある働きやすい職場づくり

・基本理念実現に向けて、楽しくやりがいのある働きやすい職場づくりはとても大切です。役職員一人ひとりが主体的に行動し、全員で力を合わせてより良い職場をつくります。

<2022 年度スローガン>

「創立 70 周年 次の時代の飛躍に向けて！！」

《事業報告概要》

<事業部門>

1. 新型コロナウイルス関連事業について、高齢者をはじめとする地域の皆様へのワクチンの巡回及び個別接種を実施し、PCR 検査では、発熱外来の患者様、渡航等のお客様の検査を行い、感染拡大防止の一助となるべく尽力しました。
2. 健康診断部門では、依然として厳しい状況が続き、職域保健における総合健診及び定期健診の受診者数は、コロナ禍前の 2019 年度比で 94.8%でした。引き続き、受診率の回復に努めてまいります。また、特定保健指導等においても、同比で 84.3%でしたが、施設を改修し相談室を増設したこと等により、協会けんぽ様の健診当日の実施件数は、前年度比で 8.1 倍（314 名増）となりました。
3. 2 年目となる新健診基幹システム「ヘルゼア」について、完全予約制による受診者様の待ち時間短縮、安定的な結果納期の 3 週間への短縮、正確性の向上及び効率化を推進し、引き続き、お客様満足の向上に努めました。
4. 臨床検査部門では、更なる効率化及び精度向上を図り、新型コロナウイルス検査の拡充、学童二次検尿の運用変更、「品質保証施設認定」の資格取得に取り組みました。
5. 環境検査部門では、新たに企画した「HACCP の記録確認を含む衛生検査」に多くのお客様からご依頼をいただきました。また、JFS-A/B 規格の監査件数も堅調に増加し、北陸三県の「食の安全・安心」をより一層推進しました。

<管理部門>

1. 「健康経営優良法人 2023 大規模法人部門」について、2023 年 3 月 8 日に 6 年連続となる認定を取得しました。しかし、協会自身の健康経営については、今一度初心に戻り、健康経営度調査の評価項目を見直し改善を図り、生産性を高め、職員全員が健康で笑顔溢れる職場づくりに取り組んでいきます。
2. 感染対策を強化し、お客様及び職員にとって安全・安心で快適な施設環境を整えることを目的とした設備投資である新館、本館の空調並びに換気設備の全面更新計画について、2022 年 5 月に工事が完了し、快適に稼働しております。
3. 環境への配慮、お客様及び職員の快適性、高騰する電気料金の対策として、新館、本館の照明機器の LED 化を完了しました。また、高圧式受電設備であるキュービクルについて、2022 年 12 月 30 日に更新しました。
4. より魅力ある健康診断・人間ドックとするために付加価値を高め、お客様満足度を向上させること、また、楽しくやりがいのある働きやすい職場づくりを進めるという 2 つの目的を意識した新館建設を目指し、現在地の正面の用地取得に向けて、2022 年 11 月 30 日に売買契約を締結しました。

1 2022年度事業実施概要

2022年度事業の実施状況は表1のとおりです。

健康診断部門について、前年度2021年度比では、全般的に受診者数は回復基調ですが、コロナ禍前の2019年度比では、依然として厳しい状況が続いています。

新型コロナウイルス関連事業として、2022年度

も引き続き、巡回、個別にてワクチン接種を推進するとともにPCR検査の拡充を図り、感染収束に向けた一助となるべく貢献しました。

医学検査については、他の健診機関からの検査受託を継続しました。

環境検査については、食品検体検査が減少しましたが、JFS-A/B規格の監査は増加し、溶接ヒュームを除く作業環境測定も増加しました。

表1 健診・検査実施状況

(その1)

▲印は減少

No	健診・検査の種類		2022年度 受診者数・件数	2021年度 受診者数・件数	増減	増減比
1	①健康診断部門／職域保健					
2	健康診断	総合健康診断	32,295	30,707	1,588	105.1%
3		定期健康診断	151,488	152,158	▲ 670	99.6%
4		小計	183,783	182,865	918	100.5%
5	肺がん検診	X線	159,282	158,030	1,252	100.8%
6		CT	4,469	4,909	▲ 440	91.0%
7	胃がん検診		29,097	29,395	▲ 298	99.0%
8	大腸がん検診		54,942	53,403	1,539	102.9%
9	子宮がん検診		8,374	8,289	85	101.0%
10	乳がん検診		9,585	9,255	330	103.5%
11	前立腺がん検診		6,602	6,146	456	107.4%
12	感染症検査・予防接種		33,620	29,762	3,858	113.0%
13	特殊健康診断	法定 有機	9,481	9,551	▲ 70	99.3%
14		じん肺	3,299	2,759	540	119.6%
15		特化物	11,723	11,025	698	106.3%
16		その他	3,017	3,105	▲ 88	97.2%
17		行政指導	5,233	5,152	81	101.6%
18	人間ドック		7,425	7,272	153	102.1%
19	健康支援		1,048	909	139	115.3%
20	ストレスチェック		61,277	63,892	▲ 2,615	95.9%
21	腸内細菌検査		110,376	118,662	▲ 8,286	93.0%

(その2)

▲印は減少

No	健診・検査の種類		2022 年度 受診者数・件数	2021 年度 受診者数・件数	増減	増減比
22	②健康診断部門／地域保健					
23	健康診査		13,307	12,669	638	105.0%
24	肺がん・結核検診	X 線検査	21,512	20,976	536	102.9%
25		CT 検査	469	522	▲53	89.8%
26	胃がん検診		5,998	6,053	▲ 55	99.1%
27	大腸がん検診		15,851	15,770	81	100.5%
28	乳がん検診		2,952	3,180	▲ 228	92.8%
29	子宮がん検診		2,196	2,487	▲ 291	88.2%
30	前立腺がん検診		3,562	3,261	301	109.2%
31	健康支援・骨密度測定		1,274	1,394	▲120	91.3%
32	③健康診断部門／学校保健					
33	尿検査		139,497	143,316	▲ 3,819	97.3%
34	ぎょう虫検査		8,617	9,554	▲937	90.2%
35	学校心電図検査		11,372	11,294	78	100.7%
36	学校健康診断		24,085	23,705	380	101.6%
37	感染症検査・予防接種		6,894	8,008	▲ 1,114	86.1%
38	④クリニック部門					
39	保険診療	件数	7,956	7,151	805	111.2%
40		点数	9,042,451	10,087,409	▲1,044,958	89.6%
41	⑤臨床検査部門					
42	臨床検査		19,764	19,808	▲44	99.8%
43	⑥環境検査部門					
44	食品検査		11,330	12,234	▲904	92.6%
45	簡易専用水道検査		857	857	0	100.0%
46	作業環境測定		2,651	2,724	▲73	97.3%
47	計量証明事業検査		317	326	▲9	97.2%

2 職域保健

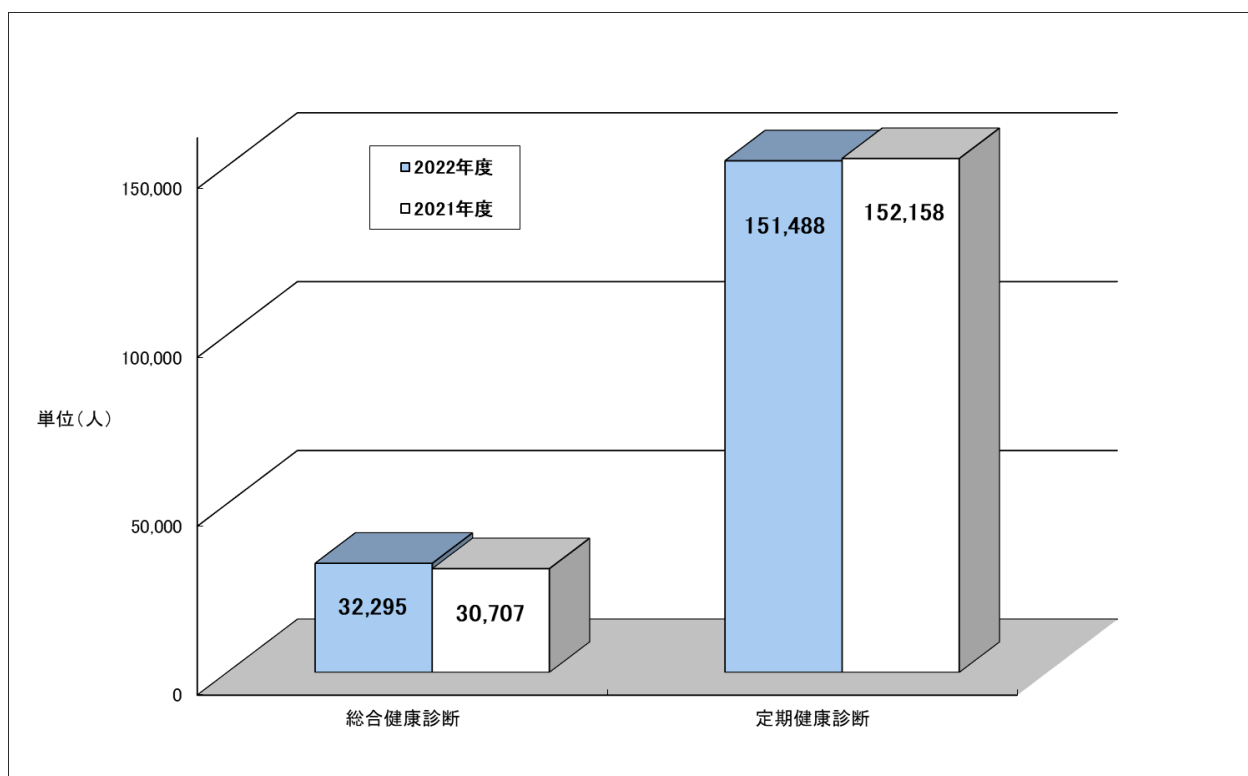
2022年度は、2021年度との比較では、全般的に受診者数は増加しました。コロナ禍前との比較では、特に定期健康診断、人間ドックは2019年度並みの回復には至りませんでした。総合健康診断は増加しました。

新健診基幹システム「ヘルゼア」について、本

格稼働から2年目となり、施設健診の完全予約制、出張健診における時間割も有効に機能し、待ち時間の少ない受診環境を推進しました。

また、健診現場、臨床検査及び事務全般など多岐にわたり合理化が進み、それにより結果納期の短縮が可能となり、お客様満足の上昇のみならず職員の負担軽減に寄与することができました。

図1 定期健康診断実施状況



(1) 総合健康診断・定期健康診断

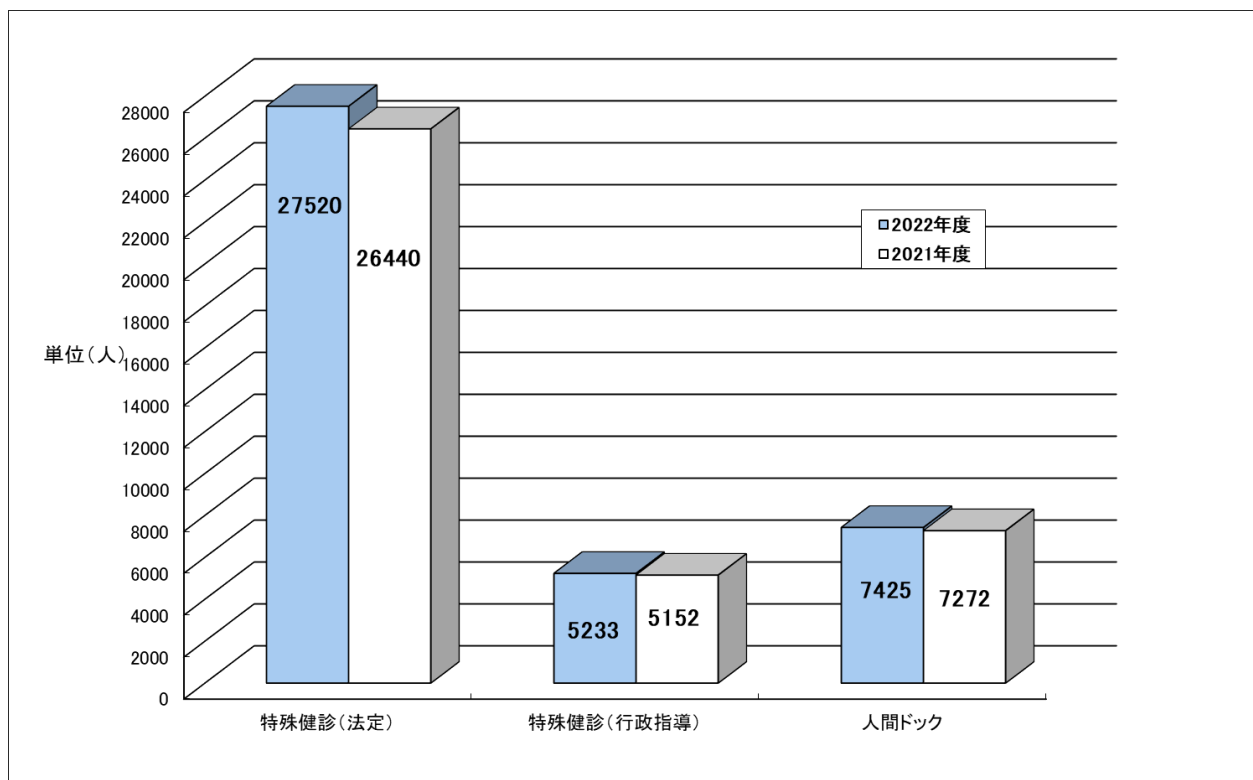
実施状況は図1のとおりです。総合健康診断、定期健康診断を合わせた健康診断の受診者数の合計は、918人増の183,783人でした。

法定の定期健康診断にがん検診等を加えて実施している総合健康診断は、健康保険組合・共済組合等の助成も多いため、助成制度を有効に利用いただけるよう、出張・施設健診の両方で利用促進に努めました。

労働安全衛生規則第44条に基づく定期健康診断

は脳血管疾患、心臓疾患、糖尿病、腎臓病、高血圧症、貧血等の早期発見やリスクの評価には有効な検査内容であり、健康管理の基本的健康診断として広く利用いただきました。

図2 特殊健康診断等実施状況



(2) がん検診

がん検診について、大腸がん検診の受診者数は1,539人増の54,942人、胃がん検診は298人減の29,097人、乳がん検診は330人増の9,585人、前立腺がん検診は456人増の6,602人、子宮がん検診は85人増の8,374人でした。

(3) 特殊健康診断

実施状況は、図2のとおりです。全体では1,161人増の32,753人が受診され、有機溶剤は9,481人、じん肺健診は3,299人、特定化学物質等の法定特殊健診は11,723人、情報機器作業健診(VDT)等の行政指導特殊健診は5,233人でした。

(4) 人間ドック

人間ドックについては、内視鏡検査及び内視鏡鎮静剤使用を一時休止した影響等により、153人増の7,425人でした。

(5) 健康支援

特定保健指導は139人増の1,048人でした。

(6) ストレスチェック

労働安全衛生法改正に基づくストレスチェックについて、受検者数は2,615人減の61,277名でした。

3 地域保健

地域保健について、コロナ禍が続く中、2021年度と比較して2022年度は全体的に受診率が向上したものの、コロナ禍前の受診率には回復できませんでした。

コロナ禍で、開催日を縮小された市町が多い中、感染拡大防止を目的として、3密を回避するための受診人数の制限により、安全・安心な受診環境を整え、取り組むことができました。

実施状況は、表2のとおりです。

(1) 健康診査

感染拡大防止を目的として、開催日の縮小や受診人数を制限したことで、健康診査の総受診者数は638人増の13,307人でした。

(2) がん検診

肺がん・結核検診は483人増の21,981人、大腸がん検診は81人増の15,851人、前立腺がん検診は301人増の3,562人でしたが、胃がん検診は55人減の5,998人、乳がん検診は228人減の2,952人、子宮がん検診は291人減の2,196人、骨密度測定は120人減の1,274人でした。

表2 地域保健市町別実施状況

市町名	基本					胸部 X 線		喀痰	胃部	大腸	子宮	乳房	前立腺	マルチCT	骨密度
	若年	特定	後期高齢	その他	国保外	39歳以下	40歳以上								
金沢市		540	135				753	12	510	451		251	129	64	120
小松市	160	472	108		3		7,484	132	2,382	7,054			240		
七尾市	55	1,536	606	3	209				5				1,175		
能美市	360	1,645		1	351		3,301	56	1,308	3,219			622	326	
川北町	54	193			54		367	6	123	246	96	152	175	79	115
野々市市	133	325	14	4			1,236	23	27	31		22	3		
白山市	330	684	4									4	101		
羽咋市															
内灘町	207	957		8	299		1,339	33	747	1,294	712	970	453		694
津幡町	260	857	310	3	267		1,461	7	718	1,341	648	704	40		
志賀町	23	749	339		99		1,491	45				1	53		
中能登町	16	600	314	8	144		1,273	9		1,062			362		127
穴水町															
輪島市							1,450	19			70	68			
かほく市	247	1,041		6	215		1,357	9	178	1,153	670	780	209		218
合 計	1,845	9,599	1,830	33	1,641	0	21,512	351	5,998	15,851	2,196	2,952	3,562	469	1,274

※1 かほく市 : 胃ABC検診

※2 川北町 : 子宮96名 内7名HPV検査実施

※3 かほく市 : 子宮670名 内82名HPV検査実施

4 学校保健

児童・生徒の健康管理については、心臓検診（心電図・心音図心電図検査）、腎臓病・糖尿病検診（尿検査）、ぎょう虫・寄生虫検査を集団検査として実施しています。これらの検診・検査は、小児期における心臓病・腎臓病・糖尿病・感染症等の早期発見や生活指導における情報として活用していただいています。

2022年度も引き続き更なる精度管理の徹底、

正確・迅速な結果報告に取り組みました。また、2020年度から導入した全自動尿統合分析装置による、確実な検査・判定システムの高い精度及び業務効率を考慮した検査体制を維持できました。

(1) 尿検査

尿検査は、小児期における腎疾患と若年性糖尿病の早期発見を目的としています。2022年度の受診者数は、3,819人減の139,497人でした。

実施状況は、表3、4のとおりです。

表3 尿検査（腎臓病検診）実施状況

		一次検尿			二次検尿				
		実施者数	陽性者数 *1	陽性率	実施者数	提出率	陽性者数	2次 陽性率	陽性率
		A (人)	B (人)	B/A(%)	C (人)	C/B(%)	D (人)	D/C(%)	D/A(%)
幼稚園 *2	男	12,924	129	1.00	108	83.72	39	36.11	0.30
	女	11,695	232	1.98	189	81.47	49	25.93	0.42
	計	24,619	361	1.47	297	82.27	88	29.63	0.36
小学校	男	29,257	306	1.05	291	95.10	41	14.09	0.14
	女	27,812	665	2.39	630	94.74	130	20.63	0.47
	計	57,069	971	1.70	921	94.85	171	18.57	0.30
中学校	男	14,982	794	5.30	746	93.95	92	12.33	0.61
	女	14,501	713	4.92	637	89.34	77	12.09	0.53
	計	29,483	1,507	5.11	1,383	91.77	169	12.22	0.57
高等学校	男	13,249	848	6.40	777	91.63	86	11.07	0.65
	女	12,589	707	5.62	610	86.28	67	10.98	0.53
	計	25,838	1,555	6.02	1,387	89.20	153	11.03	0.59
その他の学校	男	1,720	116	6.74	109	93.93	20	18.35	1.16
	女	768	53	6.90	47	88.68	9	19.15	1.17
	計	2,488	169	6.79	156	92.31	29	18.59	1.17
男 計		72,132	2,193	3.04	2,031	92.61	278	13.69	0.39
女 計		67,365	2,370	3.52	2,113	89.16	332	15.71	0.49
合 計		139,497	4,563	3.27	4,144	90.82	610	14.72	0.44

*1・・・蛋白・潜血どちらか一方でも±以上の者とする。

（但し2020年度より金沢市の小・中学校のみ、蛋白・潜血ともに±以上を陽性判定に変更。）

*2・・・保育所・保育園を含む。

表4 尿検査（糖尿病検診）実施状況

		一次検尿			二次検尿				
		実施者数	陽性者数 *1	陽性率	実施者数	提出率	陽性者数	2次 陽性率	陽性率
		A (人)	B (人)	B/A(%)	C (人)	C/B(%)	D (人)	D/C(%)	D/A(%)
幼稚園 *2	男	12,924	5	0.04	5	100.00	2	40.00	0.02
	女	11,695	5	0.04	3	60.00	0	0.00	0.00
	計	24,619	10	0.04	8	80.00	2	25.00	0.01
小学校	男	29,257	13	0.04	9	69.23	2	22.22	0.01
	女	27,812	12	0.04	8	66.67	0	0.00	0.00
	計	57,069	25	0.04	17	68.00	2	11.76	0.00
中学校	男	14,982	18	0.12	12	66.67	4	33.33	0.03
	女	14,501	16	0.11	13	81.25	5	38.46	0.03
	計	29,483	34	0.12	25	73.53	9	36.00	0.03
高等学校	男	13,249	26	0.20	23	88.46	8	34.78	0.06
	女	12,589	21	0.17	15	71.43	3	20.00	0.02
	計	25,838	47	0.18	38	80.85	11	28.95	0.04
その他の学校	男	1,720	3	0.17	3	100.00	0	0.00	0.00
	女	768	2	0.26	1	50.00	1	100.00	0.13
	計	2,488	5	0.20	4	80.00	1	25.00	0.04
男 計		72,132	65	0.09	52	80.00	16	30.77	0.02
女 計		67,365	56	0.08	40	71.43	9	22.50	0.01
合 計		139,497	121	0.09	92	76.03	25	27.17	0.02

*1・・・尿糖が+以上の者とする。

*2・・・保育所・保育園を含む。

(2) 心臓検診

学校や家庭での心臓病による突然死を防ぐことを目的に、基本的に小中学校1年生には、心音

図心電図検査、高等学校1年生には、心電図検査を専門医に指導いただき実施しています。
実施状況は、表5のとおりです。

表5 学校心臓検診実施状況

結果 区分			2022 年度（最終報告）				2021 年度（最終報告）			
			実施者数 A(人)	精検対象 者数 B(人)	精検率 B/A(%)	精検率 全国 (%)	実施者数 A(人)	精検対象 者数 B(人)	精検率 B/A(%)	精検率 全国 (%)
男	小 学 校	1 年生	289	6	2.08	2.83	318	5	1.57	2.94
		4 年生	117	9	7.69		118	9	7.63	
		他学年	3	0	0.00		0	0	0.00	
		計	409	15	3.67		436	14	3.21	
	中 学 校	1 年生	439	25	5.69	3.34	431	14	3.25	3.70
		他学年	5	0	0.00		0	0	0.00	
		計	444	25	5.63		431	14	3.25	
	高 等 学 校	1 年生	4,819	182	3.78	3.78	4,736	165	3.48	4.01
		他学年	18	4	22.22		20	7	35.00	
		計	4,837	186	3.85		4,756	172	3.62	
	特別学校		224	30	13.39		188	16	8.51	
	合計		5,914	256	4.33		5,811	216	3.72	
女	小 学 校	1 年生	268	10	3.73	2.16	325	9	2.77	2.08
		4 年生	100	4	4.00		144	7	4.86	
		他学年	5	0	0.00		4	1	25.00	
		計	373	14	3.75		473	17	3.59	
	中 学 校	1 年生	459	20	4.36	2.78	476	24	5.04	2.94
		他学年	3	0	0.00		1	0	0.00	
		計	462	20	4.33		477	24	5.03	
	高 等 学 校	1 年生	4,508	132	2.93	2.52	4,426	111	2.51	2.58
		他学年	9	0	0.00		4	0	0.00	
		計	4,517	132	2.92		4,430	111	2.51	
	特別学校		106	16	15.09		103	13	12.62	
	合計		5,458	182	3.33		5,483	165	3.01	
	合計			11,372	438	3.85		11,294	381	3.37

※精検対象者は、要精密検査者と病院管理中の者

※精検率全国値は、文部科学省の学校保健統計調査統計表一覧を引用

(3) 寄生虫検査

実施状況は、表 6 のとおりです。

2016 年度から学校保健安全法が改正され、ぎょう虫検査につきましては、任意項目となりました。2022 年度の実施件数は、937 件減の 8,617 件でした。

表 6 寄 生 虫 検 査 実 施 状 況

結果 区分	2 日 法			4 日 法		
	実施者数*1	保卵者数	保卵率	実施者数*1	保卵者数	保卵率
	A (人)	B (人)	B/A(%)	A (人)	B (人)	B/A(%)
幼稚園 *2	3,206	0	0.00	5,408	0	0.00
その他の学校	3	0	0.00	0	0	0.00
合 計	3,209	0	0.00	5,408	0	0.00

寄生虫実施なし

*1・・・同一学校で年 2 回実施している場合は、延べ数で集計した

*2・・・保育所・保育園を含む

5 医学検査

2022年度も健診、人間ドック、クリニックの検体検査において、精度の維持・向上を基本とし、お客様にご満足いただけるサービスの提供に貢献する検査体制の構築に努めました。

臨床検査部では、新型コロナウイルス検査の拡充、学童二次検尿の運用変更、「品質保証施設認定」資格に取り組みました。

2022年度臨床検査部で実施した検査は、表7に示したように、合計3,390,381件で、検査実施数

が増加しました。

遺伝子関連・染色体検査のうち、新型コロナウイルスPCR検査等は2,073件実施しました。

検査の外部委託件数は15,647件、主に尿中代謝物検査となります。

一般検査のうち、学校検尿検査143,733件、ぎょう虫卵検査8,617件を実施しました。大腸がん検査は、対前年度2,149件増の77,460件を実施しました。また、ノロウイルス検査は、対前年度142件増の1,259件を実施しました。

表7 検査実施状況

▲印は減少

検査別	2022年度	2021年度	対前年度比増減件数
	件数	件数	
尿・糞便等一般検査	168,719	172,470	▲3,751
血液学的検査	589,156	584,551	4,605
遺伝子関連・染色体検査	205,221	223,106	▲17,885
免疫学的検査	101,439	106,606	▲5,167
生化学的検査	2219,835	2,189,697	30,138
大腸がん検査	77,460	75,311	2,149
病理学的検査	12,904	13,068	▲164
その他の検査	15,647	16,365	▲718
合計	3,390,381	3,381,174	9,207

表8 石川県成人病予防センター様検査実施状況

▲印は減少

検 査 別	2022 年度	2021 年度	対前年度比増減件数
	件 数	件 数	
一般臨床検査	0	0	0
血液学的検査	18,064	18,130	▲66
血清学的検査	1,173	766	407
臨床化学的検査	18,792	18,723	69

表9 検 査 実 施 状 況

▲印は減少

検 査 別	2022 年度	2021 年度	対前年度比増減件数
	件 数	件 数	
SS	103,954	111,820	▲7,866
EHEC	96,568	104,988	▲8,420
0157	1,359	1,387	▲28
腸内細菌検査 計	201,881	218,195	▲16,314
ノロウイルスリアルタイムPCR法	1,259	1,117	142

6 環境検査

環境検査部門では、食品検査において、新たに企画した「HACCP の記録確認を含む衛生検査」に多くのお客様からご依頼をいただきました。また、食品安全マネジメント規格「JFS-A/B 規格」の監査機関としては、新たに 10 件の監査を実施し、総契約件数は、23 件となりました。しかしながら、食品検体検査においては、件数が減少しました。

作業環境測定及び簡易専用水道においては、『アドバイス』の報告書への添付継続によって、多くのお客様の職場環境等の改善に繋げることができました。

今後も、環境検査事業を通じて「健康・安全・安心」に貢献できるよう、精度の維持・向上、業務の合理化・効率化に努めていきます。

(1) 食品検査

全体の検査件数は 904 件減の 11,330 件でした。精度管理については、ISO17025 において細菌検査の生菌数及び理化学検査のナトリウムの認定を維持し、検査精度の維持・向上に努めました。また、標準作業書の改訂や外部精度管理及び外部研修会への参加と信頼性確保部門による内部点検等により、精度の向上を推進しました。

衛生検査については、新たに企画した「HACCP の記録確認を含む衛生検査」（49 件）により件数増となりました。

食品検査実施状況は表 10 のとおりです。

表 10 食 品 検 査（項 目 別）実 施 状 況

▲印は減少

項目分類	2022 年度	2021 年度	対前年度比 増減件数
細 菌 検 査	5,907	6,684	▲777
衛 生 検 査	3,003	2,912	91
理 化 学 検 査	753	741	12
有 害 物 質 検 査	650	649	1
規 格 検 査	483	572	▲89
異 物 検 査	161	197	▲36
輸 入 食 品 検 査	69	58	11
放 射 性 物 質 検 査	71	116	▲45
HACCP 導入支援業務 (JFS 監査業務含む)	72	55	17
その他(再発行手数料等)	161	250	▲89
合 計	11,330	12,234	▲904

(2) 簡易専用水道検査

全体の検査件数は昨年度同数の 857 件（現場検査：730 件、書類検査：127 件）でした。

精度管理については、全国給水衛生検査協会主催の外部精度管理調査において、S ランクを維持できました。

また、外部研修会への積極的な参加と信頼性確保部門による内部監査の定期的な実施を継続し、精度の向上に努めました。また、『簡易専用水道検査員からのアドバイス』の報告書への添付を継続し、具体的で分かりやすい内容を心がけ、多くの改善に繋げることができました。

(3) 作業環境測定

全体の検査件数は 73 件減の 2,651 件でした。2021 年度の単年度事業であった溶接ヒューム濃度測定が 88 件減の 41 件となりました。また、『作業環境測定士からのアドバイス』の報告書への添付を継続し、施設の課題箇所、労働者様の意識、有害物質の発散状況の気づき等、多くの改善に繋げることができました。

作業環境測定の実施状況は表 11 のとおりです。

表 11 労働安全衛生法第 65 条に基づく定期作業環境測定実施状況

▲印は減少

検 査 分 類	2022 年度	2021 年度	対前年度比 増減件数
有機溶剤測定	782	788	▲6
特定化学物質測定 (溶接ヒューム濃度測定含む)	636	748	▲112
粉じん測定	369	367	2
金属測定	137	140	▲3
騒音測定	85	83	2
空気環境測定 (事務所則含む)	561	530	31
その他測定 (制御風速等)	81	68	13
合 計	2,651	2,724	▲73

(4) 計量証明事業

全体の検査件数は 317 件でした。

計量証明事業の実施状況は表 12 のとおりです。

表 12 計 量 証 明 事 業 実 施 状 況

検 査 分 類	2022 年度	2021 年度	▲印は減少
			対前年度比 増減件数
大 気 測 定	272	273	▲1
その他(計量対象外等)	45	53	▲8
合 計	317	326	▲9

7 総務事項

(1)理事会開催状況

2022 年 6 月期定例理事会

2022 年 6 月 3 日(金)

第 1 号議案

2021 年度（令和 3 年度）事業報告（案）
について

第 2 号議案

2021 年度（令和 3 年度）決算（案）について

第 3 号議案

2021 年度(令和 3 年度)公益目的支出計画(案)
について

第 1～3 号議案について審議の結果、全会一致で承認されました。

2022 年 11 月期臨時理事会

2022 年 11 月 9 日(水)

第 1 号議案

新規土地取得計画（案）について

第 2 号議案

古河浩之前理事・予防医学クリニック院長兼
医局長の退任・退職のご報告

第 1～2 号議案について審議の結果、全会一致で承認されました。

2023 年 3 月期定例理事会

2023 年 3 月 8 日(水)

第 1 号議案

2023 年度（令和 5 年度）事業計画（案）
について

第 2 号議案

2023 年度（令和 5 年度）収支予算（案）
について

第 1～2 号議案について審議の結果、全会一致で承認されました。

(2)評議員会開催状況

2022 年 6 月期定例評議員会

2022 年 6 月 21 日(火)

第 1 号議案

2021 年度（令和 3 年度）事業報告（案）
について

第 2 号議案

2021 年度（令和 3 年度）決算（案）について

第 3 号議案

2021 年度(令和 3 年度)公益目的支出計画(案)
について

第 1～3 号議案について審議の結果、全会一致で承認されました。

2022 年 11 月期臨時評議員会

2022 年 11 月 28 日(月)

第 1 号議案

新規土地取得計画（案）について

第 2 号議案

古河浩之前理事・予防医学クリニック院長兼
医局長の退任・退職のご報告

第 1～2 号議案について審議の結果、全会一致で承認されました。

2023 年 3 月期定例評議員会

2023 年 3 月 27 日(月)

第 1 号議案

2023 年度（令和 5 年度）事業計画（案）
について

第 2 号議案

2023 年度（令和 5 年度）収支予算（案）
について

第 1～2 号議案について審議の結果、全会一致で承認されました。

8 啓発活動報告

公益活動の一環として、乳がん「かなざわピンクリボンプロジェクト」に参画し、がん早期発見のための啓発活動を行いました。

◇かなざわピンクリボンプロジェクト

開催日：2022年10月23日(日)

会 場：しいのき迎賓館

内 容：活動では、メッセージウォーク、メッセージイベント等の取り組みに参画し、乳がん検診の啓発に協力しました。

内 容：製品の品質向上に向けた検査提案と微生物抑制手法

発表者：渋谷 美和

内 容：食品検査機関による監査業務の成果と課題

発表者：鈴木 一人

内 容：金属アーク溶接ヒューム濃度測定結果と事業所等の対策について

発表者：坂野 寛太

内 容：学校検尿における測定方法の変更に伴う陽性率の変化について

発表者：角地 かおり

9 学会発表状況

第56回 全国予防医学技術研究会

日 時：2023年3月3日(金)

会 場：金沢市文化ホール
(石川県金沢市高岡町15-1)

内 容：当協会におけるマンモグラフィの読影について～技師と医師との比較～

発表者：尾形 優

内 容：近年の地域胃がん検診の実施状況～X線検診とABC検診の対比～

発表者：池田 一浩

内 容：胸部X線検査における緊急連絡用グループウェアの活用に関して

発表者：伊藤 陸生

内 容：胸部X線検査におけるコロナウィルス感染防止対策

発表者：松田 知久

内 容：新基幹システム導入について—採血業務における効果の検証—

発表者：吉村 雅世

内 容：Covid-19流行前後の健診データの変化について

発表者：中山 美咲

内 容：学校検尿の機械法への変更と運用について

発表者：宮島 真由美

内 容：人間ドック受診者の主観的咀嚼状態と生活習慣・健診結果の関連性

発表者：岡本 弥生

内 容：巡回健診の受付業務における新基幹システム導入後の効果と今後の課題について

発表者：津田 宗郎

内 容：施設健診における満足度向上の取り組みについて

発表者：高井 彩

10 会議・研修実施状況

◇ 各種学会関係

第 119 回日本内科学会総会	4 月 1 日	京都府	10 月 7 日～10 月 9 日	兵庫県
日本糖尿病学会年次学術集会	5 月 12 日～5 月 14 日	Web 開催	第 7 回胃がん検診専門技師研修会	10 月 17 日
第 88 回日本消化器内視鏡技師学会	5 月 12 日～5 月 14 日	Web 開催	日医認定産業医研修会	Web 開催
第 48 回日本超音波検査学会学術集会	6 月 10 日～6 月 11 日	Web 開催	10 月 23 日	石川県
第 95 回日本産業衛生学会	5 月 25 日～5 月 28 日	高知県	日本消化器関連学会	10 月 27 日～10 月 30 日
第 47 回日本超音波検査学会学術集会	5 月 27 日～5 月 29 日	Web 開催	健康運動指導士 2022 年度更新必修講座	10 月 30 日
第 184 回マンモグラフィ技術更新講習会	5 月 28 日	東京都	令和 4 年度日臨技中部圏支部医学検査学会（第 60 回）	福井県
第 61 回日本消化器がん検診学会総会	6 月 10 日～6 月 12 日	Web 開催	11 月 1 日～11 月 30 日	Web 開催
2022 年度日本総合健診医学会精度管理研修会	6 月 10 日～6 月 23 日	Web 開催	全衛連中部地方協議会令和 4 年度「第 1 回定例会議」	11 月 1 日
第 63 回日本臨床細胞学会総会（春期大会）	6 月 15 日～7 月 10 日	Web 開催	第 61 回日本臨床細胞学会（秋期大会）	11 月 5 日～11 月 6 日
第 27 回日本老年看護学会学術集会	6 月 25 日～6 月 26 日	Web 開催	第 96 回日本糖尿病学会中部地方会	11 月 19 日～11 月 20 日
腹部超音波検査 ONLINE 研修会	6 月 30 日	Web 開催	2022 年度日臨技臨床検査精度管理調査報告会	11 月 25 日～11 月 26 日
第 30 回日本乳癌学会学術総会	6 月 30 日～6 月 31 日	Web 開催	北陸消化器内視鏡学会	11 月 27 日
日本病態栄養学会 2022 年度糖尿病透析予防指導セミナー	7 月 1 日～8 月 30 日	Web 開催	全国労働衛生団体連合会特殊健康診断研修会	12 月 1 日
2022 年度日本総合健診医学会データヘルス研修会	7 月 6 日～7 月 19 日	Web 開催	日本産業衛生学会中小企業安全衛生研究会第 56 回全国集会	12 月 9 日～12 月 10 日
日本 CT 検診学会 2022 年夏期セミナー	7 月 23 日	Web 開催	2022 年度日本健康運動指導士会石川県支部研修会	12 月 11 日
中国地区消化器内視鏡機器取り扱い講習会	7 月 24 日	Web 開催	産業医研修会	12 月 23 日～12 月 25 日
令和 4 年度認定一般検査技師育成研修会（尿検査編）	8 月 1 日～8 月 31 日	Web 開催	超音波スクリーニング研修講演会 2022	12 月 28 日
静岡県第 9 回スポーツ医学セミナー医師会認定健康スポーツ医更新研修	8 月 20 日	Web 開催	第 26 回日本病態栄養学会年次学術集会	1 月 13 日～1 月 15 日
第 87 回北陸支部生涯教育後援会	9 月 4 日	Web 開催	生理機能検査 ONLINE 研修会	1 月 17 日～1 月 24 日
第 63 回日本人間ドック学会学術大会	9 月 12 日～9 月 30 日	Web 開催	日本総合健診医学会第 51 回大会	1 月 26 日～1 月 28 日
第 27 回日本糖尿病教育・看護学会学術集会	9 月 17 日～9 月 18 日	Web 開催	第 67 回人間ドック健診情報管理指導ブラッシュアップ研修会	1 月 27 日～2 月 13 日
第 32 回日本産業衛生学会全国協議会	9 月 28 日～10 月 1 日	北海道	第 30 回日本 CT 検診学会学術集会	2 月 17 日～2 月 18 日
日本医療検査科学会第 54 回大会			第 79 回マンモグラフィ更新講習会	2 月 18 日～2 月 19 日
			令和 4 年度臨床検査精度管理調査報告会	3 月 3 日
			予防医学事業中央会 令和 4 年度「保健指導研修会」	3 月 10 日
			THP 指導者実務向上研修	3 月 17 日

◇ 日本作業環境測定協会関係

令和 4 年度日本作業環境測定協会北信越支部石川分会総会
7 月 1 日 石川県

令和 4 年度石川県環境計量協会総会
7 月 15 日 石川県

作業環境測定士登録講習（第一種登録講習（金属））
7 月 20 日～7 月 21 日 大阪府

マスクフィットテスト実施者養成研修
7 月 22 日 大阪府

労働安全衛生規則等の一部を改正についての説明会
8 月 2 日 Web 開催

GC ヘリウム不足に対応する汎用 GC における窒素キャリア切替時の注意点
9 月 29 日 Web 開催

令和 4 年度簡易専用水道検査外部精度管理調査
11 月 11 日 愛知県

簡易専用水道管理者更新講習会
1 月 27 日 東京都

令和 4 年度作業環境測定士等対象の研修会
2 月 24 日 石川県

◇ 食品衛生指定検査機関関係

JFSM 会員報告会 2022 春
4 月 21 日 Web 開催

食品安全マネジメント協会主催：なるほど！いちからわかる J F S 規格を取得するには？ セミナー
4 月 26 日 Web 開催

JFS-A/B 規格 Ver.3.0 概要説明会
4 月 28 日・5 月 12 日 Web 開催

FSSC Development Program セミナー
5 月 16 日 Web 開催

HACCP 普及指導員研修会
5 月 19 日 Web 開催

JFSM 主催世界食品安全の日 2022
6 月 7 日 Web 開催

第 2 回適合証明規格運用連絡会
6 月 10 日 Web 開催

異物検査セミナー
7 月 7 日 石川県

2022 年度 品質管理研究会
7 月 23 日 Web 開催

令和 4 年度第 2 回 HACCP 普及指導員研修会
8 月 22 日 Web 開催

令和 4 年度 残留農薬等研修会
8 月 26 日 Web 開催

JFS-A/B Ver.3.0 改定説明会
9 月 5 日 Web 開催

FSMS 内部監査研修会

9 月 9 日～9 月 16 日 Web 開催

JFSM 会員報告会 2022 年秋
9 月 15 日 Web 開催

JFS 規格適合証明プログラム運用ハーモナイズーション会議
10 月 21 日 Web 開催

令和 4 年度食の安全・安心に関する講演会・意見交換会
11 月 4 日 石川県

残留農薬セミナー
11 月 10 日 Web 開催

食品安全コンベンション 2022
11 月 17 日 Web 開催

とやま輸出コミュニティ発足記念セミナー
11 月 17 日 富山県

JFS 規格のための一般衛生管理&HACCP セミナー
11 月 25 日 Web 開催

NPO 法人 HACCP システム研究会オンライン講演会
11 月 29 日 Web 開催

2023 年第 1 回適合証明規格運用連絡会
2 月 10 日 Web 開催

関西地区輸入食品登録検査機関懇談会研修会
2 月 17 日 大阪府

JFS-A/B 規格監査員・判定員フォローアップ研修
3 月 1 日 Web 開催

令和 4 年度第 3 回 HACCP 普及指導員研修会
3 月 17 日 Web 開催

令和 4 年度「栄養成分研修会」
3 月 22 日 Web 開催

◇ 労働基準協会関係

奥能登地区労働基準協会健康診断事務連絡会
7 月 27 日 能登町